

資料 1 お申込みの流れ

Cambridge English (ケンブリッジ英語検定)

次の2つの試験センターのみが特別価格での提供が可能です。受験される方ご自身または団体の代表者が、試験センターに直接E-mailで希望されるセンターに必要な事項をご連絡下さい。

JP029 (株) 基盤学力総合研究所 (Z会グループ)	JP065 ケンブリッジ英検 近畿試験センター	JP176 西日本試験センター
<ul style="list-style-type: none"> E-mail 宛先: ce-info@21lri.co.jp 件名「文部科学省-Cambridge English検定料等助成制度2017」で送付 ウェブサイト: www.21lri.co.jp/ 試験会場: 東京(御茶ノ水)、静岡(三島) 支払方法: クレジットカード、コンビニ支払 	<ul style="list-style-type: none"> E-mail 宛先: uclescentre@camb-hg.com 件名「文部科学省-Cambridge English検定料等助成制度2017」で送付 ウェブサイト: www.camb-hg.com/exam/exam.htm 試験会場: 兵庫(神戸) 支払方法: 原則はセンター指定の銀行口座にお振込み、現金書留も可 	<ul style="list-style-type: none"> E-mail 宛先: info@cambridgecentre.jp 件名「文部科学省-Cambridge English検定料等助成制度2017」で送付 ウェブサイト: http://cambridgecentre.jp/ 試験会場: 大阪、岡山、島根(出雲)、広島、福岡、鹿児島 支払方法: センター指定の銀行口座にお振込み
<ul style="list-style-type: none"> KET & KET for Schools, PET & PET for Schools, FCE & FCE for Schools, CAE, CPE ほぼ毎月設定あり。最新情報はウェブサイトをチェック願います www.21lri.co.jp/cambridge/page4.html 	<ul style="list-style-type: none"> KET, PET, FCE CAE, CPE for Schoolsの設定なし(中高生の受験生の方も一般対象のKET/PET/FCEを受験) KET/PET: 5月、FCE: 6月、CAE: 7月、CPE: 12月実施予定 www.camb-hg.com/exam/exam.htm 	<ul style="list-style-type: none"> KET & KET for Schools, PET & PET for Schools, FCE & FCE for Schools, FCE, CAE 春・秋実施予定。試験・会場により異なるため、ウェブサイトをチェック願います http://cambridgecentre.jp/exams/test-schedule/

※最少催行人数の規定等で催行が見送られる場合もありますので、あらかじめご承知おき下さい。

試験センターより、お申込みの際しより詳しいご案内を差し上げます。

また、試験センターより検定料の振込方法をお知らせしますので、各センターの案内にそってお支払ください。

必要事項:

1. 氏名(漢字)
2. 氏名(ローマ字)
3. 学校名
4. 電話番号

5. E-mail アドレス
6. 受験検定名
7. 受験希望センター
8. 受験希望日

9. 団体の場合、受験人数
10. 検定料助成制度識別コード
2017年度用のコードを記載願います

※専用ウェブサイト (www.cambridgeenglish.org/jp/mext/) よりご確認ください

※更新情報は上記ホームページにて連絡いたします。どうぞご確認ください

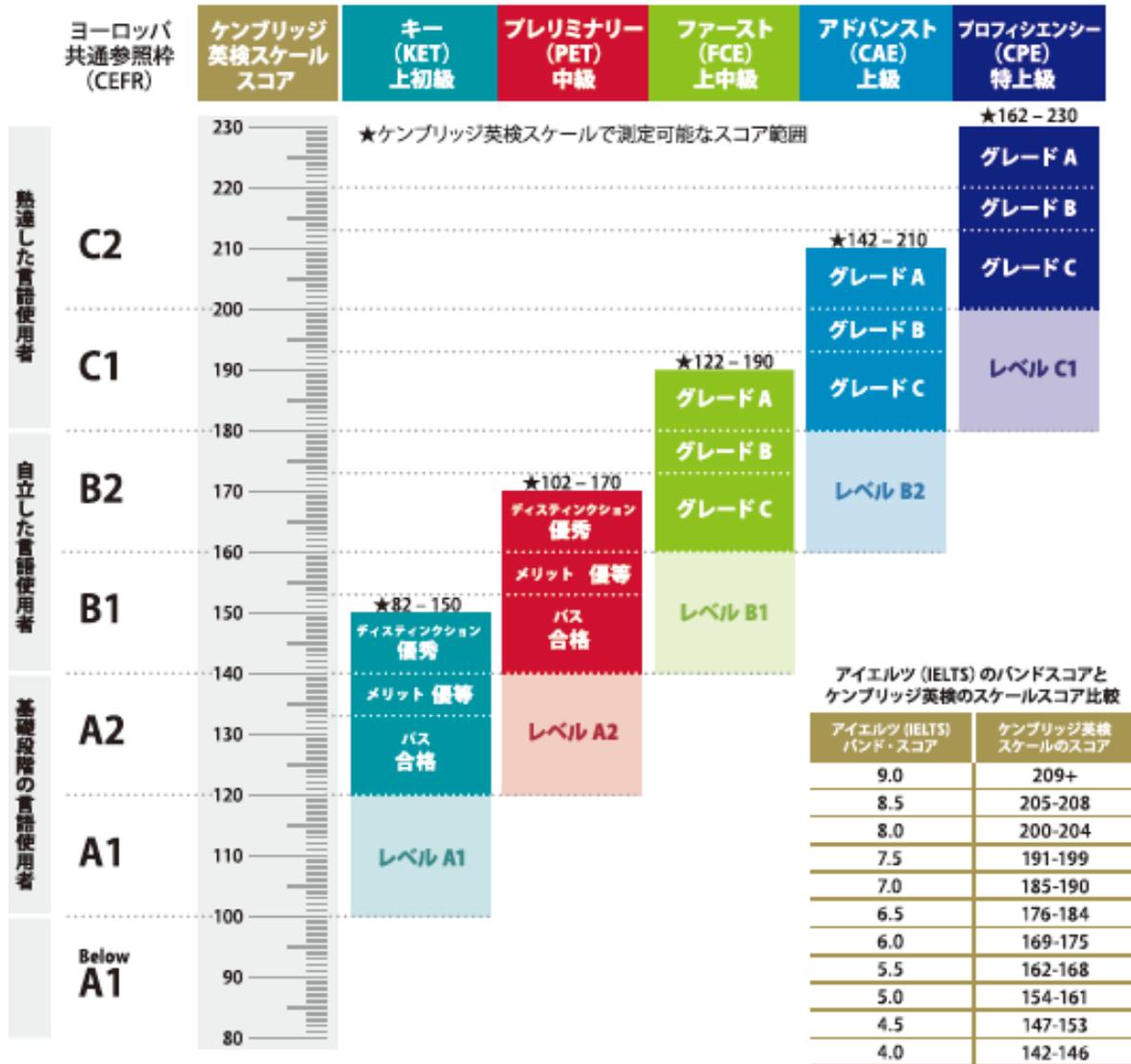


試験センターから申込完了のご連絡が送付されます。

Cambridge English

Cambridge English (ケンブリッジ英語検定)

(Key, Preliminary, First, Advanced, Proficiency の5試験)



「Common European Reference (CEFR): ヨーロッパ言語共通参照枠」は、言語運用レベルの基準として、2001年に欧州評議会により発表されました。ケンブリッジ英検は、その開発に深く携わっており、全ての試験がCEFRに準拠しています。ケンブリッジ大学英語検定機構が創設メンバーであるALTE (Association of Language Testers of Europe)のCan Doステートメントと併用して、現在はヨーロッパのみならず世界中で利用されています。

全試験でスピーキングテストを行います。面接試験官と受験者2名の対面方式で、実践的な英語コミュニケーション力を測ります

Cambridge English